

ボローニャ大学協定校留学月例報告(6 月分)

文化政策学部 国際文化学科 4 年 恒枝碧

Buongiorno! 国際文化学科 4 年の恒枝碧です。6 月はボローニャも暑くなってきましたが湿度がない分扇風機でも過ごせるほどの暑さです。今月は試験が終わったこともあり、イタリア国外旅行の様子をお届けします。

【スイス・チューリッヒ】

日本人の知り合いがチューリッヒ近辺に住んでいることもあり数日訪れました。スイス人と日本人は精神性が似ている気がします。ゴミが落ちていることもなく、電車内は静かで公共交通機関は時間通りに動くし、真面目気質な人が多いのかもしれませんが、しかし、住んで仕事がある状態ならば幸せに過ごせるかもしれませんが、ただ旅行としていくのなら覚悟が必要でした。理由は物価の高さです。駅のキオスクで朝ごはん用に 500mlの水と普通のホットサンド的なものを買うと 10 フラン(1700 円)しました。ランチも 25 フラン(4500 円)以下では食べられないしディナーは 30 フラン(5300 円)では食べられないらしいです。スイスはヨーロッパですがEUではありません。街を歩いていると移民(アフリカ系、中東系、インド系)の割合が少ないように感じました。浮浪者も少なければ道端や駅構内で座りこんでいる人もいないのである程度の経済力と民度が日本のように高いと感じます。湖が多く、もちろん自然も多くて 6 月後半なのに 20 度と雨が降ると寒かったですがとても景色のいいリラックスできる国でした。



【ドイツ・ミュンヘン】

スイスよりも物価は低く、イタリアと変わらない価格帯になったミュンヘン。大聖堂やかつてミュンヘン近郊のバイエルン地域を治めていた王家の住宅や別荘など歴史的な建築物が鎮座する一方で近代的なビルや街並も存在し、双方のバランスがとてもよく調和している印象を受けました。イタリアは歴史的な街並みに重きを置いているので、ミュンヘンの歴史的な街並みと近代的なビルのコンビネーションは新鮮でした。イタリアの美術館や教会など内部装飾はカトリッ



ク教会の影響を多く受けていますが、ミュンヘンの選帝侯のお屋敷は宗教はあまり関係なく、その家の権力の偉大さをキラキラのシャンデリアやエレガントな装飾で飾っているところに文化芸術の使用意図と訪問者に与えるイメージの差異を学びました。

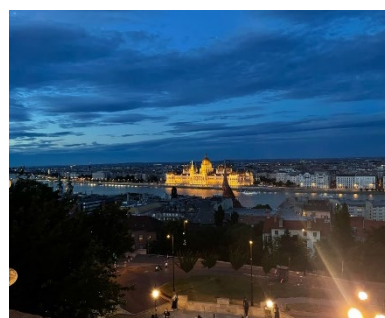
【オーストリア・ウィーン】

今回の旅で一番好きだった街かもしれません。街の要所要所にアップダウンがありそれが街の景観に美しさをプラスしています。ウィーンはとにかくエレガントでした。ミュンヘンに近代的なビルがあったのに対し、ウィーンには基本的にビルなどは目立たず連なる白やクリーム色のエレガントな建物が中心部だけでなく少し郊外に行っても続いています。人はイタリア人ほどオープンで陽気ではありませんが、スイス人やドイツ人よりも気さくでラフでフレンドリーな人が多かった印象がありました。ハプスブルク家の力も体感できて良い学びになりました。ミュンヘンからのバスの中で出会ったウィーン在住ハンガリー人の女の子と友達になり、ウィーンのいろいろな場所を案内してもらいました。彼女のおかげで観光地だけではない、美術館の分布や土地勘など自分では知りえなかったことを学べて有意義な時間を過ごせました。出会えてよかったです。



【ハンガリー・ブダペスト】

旅の最後はブダペストに行ってきました。EU圏なのでユーロが使えると思っていたらまさかのハンガリーは独自の通貨を使用しているということで銀行からお金を降ろす必要がありました。物価は他の国よりも断然安く、日本よりも安いです。ハンガリーまで東に来ると、ヨーロッパのエレガントで荘厳な街並みや装飾文化とアジアの民族的な、ごちゃごちゃした(悪い意味ではなく)エスニックな文化がどちらも組み込まれた印象を受けました。ドナウ川をはさんでブダ地区とペスト地区を歩きましたが、夜に丘の上から見るドナウ川とライトアップされた国会議事堂は息をのむほどきれいでした。



今回の旅行は1人で4か国をまわってきましたが、1人で回ったからこそいろいろな出会いもあり、現地の人と交流し文化に

少し触れることができました。違う土地に住み、文化の違うところで生きている人と自分はどのように生活し何を考え何を感じながら過ごしているのかを共有しあうことほどおもしろいものはありません。自分の感性と教養を養うためにもとても有意義な旅行となりました。

ボローニャではイタリア人の友人たちと日本文化に触れるイベントに行ったり、公園で草原に座りながら勉強したり、広場でほぼ毎日上映されている屋外映画を見に行ったりなど夏のボローニャをできる限り堪能しています。自分のためにできる最大限のことを一歩ずつ進んで、最後の1か月を楽しみます。

